



# 文 武 両 輪

～勉強も行事も部活動も～

令和6年3月26日

【文責】校長 蔦川 誠

## 来年度の生徒会テーマは「想う」

3月22日(金)の5校時、第3回生徒総会が開かれました。

生徒総会では、最初に後期活動計画(生徒会・委員会・部活動)について、担当者から振り返り(成果と課題など)がありました。次に、生徒会執行部から来年度の生徒会テーマ案について、スライドを活用した詳しい説明がありました。テーマ案については、3月15日(金)の各学級のミニ総会での話し合いを経て提案された数多くの案から中央議会で3つの案に絞って、第3回生徒総会での話し合いとなりました。

以下にテーマ案の採決に向け、執行部から説明のあった「生徒会の願い」と「生徒会長の願い」を載せます。

### 【 生徒会の願い 】

「活気があり、思いやりにあふれた優しい学校」を目指していきたい。

- ・現状では、「良い活気」ではなく「悪い活気」に進みがちという課題がある。  
(悪ノリや冷やかしなど、マイナスのところ盛り上がっているときがある)
- ・「悪い活気」を「良い活気」にするためには、思いやりをもつことが一番重要。

### 【 生徒会長の願い 】

「全員が誰かのために行動し、相手のことを想うことができる学校」にすること。

- ・全校生徒が誰かのことを想った行動をとることで、学校全体が優しい雰囲気になれ、発言や発表などの自己表現がしやすい環境になっていくと思う。
- ・過去2年間の生徒会テーマの「結束」、「共栄」は、全校が一つになってより高みを目指すことに重点を置いていて、これらのテーマを掲げ活動することで、一つのことに全校で向かっていく感覚を経験してきた。この感覚を大事にしながらも、相手を想うことで、今よりもさらに深く、全校でつながっていききたい。その深いつながりで、さらなる高みを目指して、来年度も全校で前進していきたい。

全校生徒の投票によって、来年度の生徒会テーマは「想う」に決定しました。話し合いの中では、「想う」には生徒会長や生徒会の願いと重なっている、新入生にとっても分かりやすい、今までと違って新鮮な印象を与える、などの賛成意見が数多く出されました。

来年度は、全ての教育活動(授業や日常生活、行事、部活動)において、他人を気遣う「想う」を意識してほしいと思います。

